

第6章 具体的な取組み内容

6-1. 具体的な取組みの体系図と数値目標一覧

基本理念：やさしい心で支えあい誰もが幸せを実感できる未来

基本方針	基本課題	具体的な取組み
1. 男女共同参画社会実現に向けた意識づくり	1. 地域活動の場への女性登用	1. ★地域活動の場における女性の参画、登用拡大
		2. 女性の自治会活動等への参加促進
		3. 自衛消防団への活動支援および女性消防団員の普及・促進
		4. まちづくりや職場・地域活動への男女共同参画
	2. 就業・労働の場での男女平等	1. ワーク・ライフ・バランスの啓発、推進
		2. ★役場内へのワーク・ライフ・バランスの促進
		3. 男女共同参画の関連法令の周知および雇用機会の均等
		4. 就労のための能力開発と意識向上の促進
		5. 農林業における家族経営協定の締結
	3. 家庭や学校教育の場での男女平等	1. 学校教育による心の育成
		2. 性教育（★性の多様性）の推進
		3. 家庭における男女共同参画の意識醸成

数値、指標の測り方	現況値 (令和 2 年度)	数値目標 (令和 7 年度)	数値目標 (令和 12 年度)
新たなルールを運用できる団体数	—	2 団体	4 団体
各地区の自治会活動等への女性の参加割合	—	50%	100%
女性防災士数	67 人	90 人	115 人
女性消防団員の割合	6%	10%以上	12%以上
イベント等開催数（年間）	0 回	5 回	5 回
イベント等参加者へ基本理念の実感度	—	30%	50%
男女共同参画図書コーナー設置回数（年間）	—	2 回	2 回
いしかわワーク・ライフ・バランス認定企業数	2 社	5 社	10 社
勉強会開催数（年間）	—	5 回	5 回
男性職員の育児休業取得率	0%	15%	30%
「職場」における男女平等が 40%を超える項目数	3 項目	6 項目	8 項目
いしかわ男女共同参画推進宣言企業数	8 社	20 社	30 社
情報、学習機会提供回数（年間）	1 回	1 回	1 回
雇用につながるプログラム実施数（年間）	—	5 回	5 回
女性新規就農者数	0 人	3 人	6 人
小学校での授業提供回数（年間）	3 回	1 回以上	1 回以上
人権教育の実施校数（年間）	4 校	4 校	4 校
性教育の実施校数（年間）	4 校	4 校	4 校
SDGs セミナー開催数（年間）	—	1 回	1 回
「家庭」における男女共同参画社会の達成状況	49.5%	60%	70%

基本方針	基本課題	具体的な取組み
2. 誰もが幸せを実感できる地域づくり	1. 誰もが安心・安全に暮らせる地域づくり	1. 子育て世帯への支援
		2. 障がい者への相談支援
		3. ひとり親家庭への支援充実
		4. ★外国人への支援
		5. ★多様性への理解促進
	2. 人生 100 年時代を実現できる地域づくり	1. ライフステージに応じた健康づくりの推進
		2. 親子の健康づくりの推進
		3. 生涯を通じた健康活動の推進
	3. 暴力を許さない風土づくり	1. DV 等予防啓発各堂の推進及び相談先の周知
		2. DV 等相談体制の充実
3. 誰もが参画しやすい仕組みづくり	1. 意思決定の場への女性登用	1. 審議会や委員会等における女性の参画、登用
		2. 女性管理職員の登用と育成
	2. 男女共同参画を身近に感じる環境づくり	1. 男女共同参画の啓発・周知の深化
		2. 男女共同参画の視点に立った制度・慣行の見直し
		3. 情報、資料の収集
	3. 民間団体が男女共同参画を推進できる体制づくり	1. ★民間団体等との連携・仕組みづくり
		2. ★女性協議会の普及啓発活動
		3. ★男女共同参画推進員の普及啓発活動

数値、指標の測り方	現況値 (令和 2 年度)	数値目標 (令和 7 年度)	数値目標 (令和 12 年度)
出産・子育て環境に対する満足度	65%	80%	100%
相談支援件数（年間）	186 件	201 件	216 件
ひとり親家庭学習支援事業数（年間）	19 回	10 回以上	10 回以上
ひとり親家庭相談回数（月間）	1 回	1 回	1 回
日本語教室の参加のべ人数	90 人	240 人	440 人
情報提供回数	—	—	5 回
特定健診受診率	36.6%	60%	60%
特定保健指導率	38.8%	60%	60%
がん検診受診率	胃がん : 11.4% 肺がん : 13.5% 大腸がん : 10.7% 乳がん : 14.8% 子宮がん : 12.9%	40%	40%
妊産婦及び乳幼児健康診査受診率	100%	100%	100%
生涯学習のつどい参加者の周知度、満足度	—	50%	100%
相談体制・支援の周知度	—	50%	100%
相談件数（年間）	5 件	10 件	10 件
相談体制・支援の周知度	—	50%	100%
女性登用比率	39.5%	40%以上	40%以上 60%以下
女性管理職比率（一般行政職の比率）	15.8%	18%以上	40%
中能登町全体の男女共同参画達成状況	17.3%	40%	50%
ケーブルテレビでの男女共同参画の啓発に関する番組制作およびデジタルを活用した情報発信（年間）	—	1 回	2 回
課題解決提案企画数（年間）	—	1 提案	1 提案
告知推進月間の PR（年間）	2 回	2 回	2 回
男女共同参画関連図書の購入数	10 冊	50 冊	100 冊
男女共同参画の普及啓発活動等への支援団体数	1 団体	5 団体	5 団体
中能登町 18 歳以上女性人口数に占める女性協議会会員数の割合	8.8%	9%維持	9%維持
各地区での男女共同参画普及啓発活動	—	5 地区	10 地区

★第 3 期の新たな取り組みです

6-2. 基本方針 1. 男女共同参画社会実現に向けた意識づくり

基本課題 1. 地域活動の場への女性登用

1-1-1 地域活動の場における女性の参画、登用拡大（新規）

内容	取組主体	関係/連携団体	
地域活動の活性化を目的とし、地域活動における様々な意思決定の場等への女性の参画拡大、役職への登用につながるこれからの時代に合う考え方に更新したルールづくりをまずは男女共同参画推進員の会から検討し、連携する各団体へと波及できるように努めます。	企画情報課	男女共同参画推進員の会 区長会 実年会	
数値、指標の測り方	現況値 (令和2年度)	数値目標 (令和7年度)	数値目標 (令和12年度)
新たなルールを運用できる団体数 (独自設定指標)	—	2 団体 (計画期間累計)	4 団体 (計画期間累計)

1-1-2 女性の自治会活動等への参加促進

内容		取組主体		
女性が自治会活動などに参画し、環境・防犯・防災などの地域課題に対し、多様な考え方が活かせるよう地域への働きかけを行うとともに人材を育成します。また、すべての避難所に女性防災士を配置できるよう女性防災士の育成・拡充に努めます。		総務課 危機管理課		
No.	数値、指標の測り方	現況値 (令和2年度)	数値目標 (令和7年度)	数値目標 (令和12年度)
1	各地区の役員に女性がいる地区の割合 (独自設定指標)	—	50% (計画期間)	50% (44 地区中 22 地区) (計画期間)
2	女性防災士数 (独自設定指標)	67 人	90 人 (計画期間累計)	115 人 (計画期間累計)

1-1-3 自衛消防団への活動支援および女性消防団員の普及・促進

内容	取組主体		
地区ごとに組織する自衛消防団に対する活動交付金を交付し、支援に努めるとともに、女性消防団員を増加させるために啓発活動を行い、募集や普及に努めます。	危機管理課		
数値、指標の測り方	現況値 (令和2年度)	数値目標 (令和7年度)	数値目標 (令和12年度)
女性消防団員の割合 (国の指標)	6%	10%以上 (計画期間)	12%以上 (計画期間)

1-1-4① まちづくりや職場・地域活動への男女共同参画

内容		取組主体		関係/連携団体
「やさしい心で支え合い誰もが幸せを実感できる未来」の基本理念の普及を図るため、学校、地域などに出張紙芝居・講座・イベント・ワークショップを開催します。		企画情報課		男女共同参画推進員の会 町内企業 鹿西高等学校
No.	数値、指標の測り方	現況値 (令和2年度)	数値目標 (令和7年度)	数値目標 (令和12年度)
1	イベント等開催数（年間） （独自設定指標）	0回	5回 （計画期間平均）	5回以上 （計画期間平均）
2	基本理念「やさしい心で支え合い誰もが幸せを実感できる未来」の実感度 （独自設定指標、イベント参加者へアンケートの実施）	—	30% （計画期間）	50% （計画期間）

1-1-4② まちづくりや職場・地域活動への男女共同参画

内容			取組主体	
6月の男女共同参画週間、11月のパープルリボン月間に図書館内に男女共同参画コーナーを設置し、男女共同参画の意識醸成につなげます。			生涯学習課	
No.	数値、指標の測り方	現況値 (令和2年度)	数値目標 (令和7年度)	数値目標 (令和12年度)
3	男女共同参画図書コーナー設置回数（年間） （独自設定指標）	—	2回 （計画期間平均）	2回 （計画期間平均）

基本課題 2. 就業・労働の場での男女平等

1-2-1 ワーク・ライフ・バランスの啓発、推進

内容		取組主体	関係/連携団体	
仕事と家庭の調和が保たれるよう、男女ともにワーク・ライフ・バランスの見直しを図るための学習やセミナーの場を提供するほか、企業イメージや人材確保 PR の際の企業の強みとなるように、県の認定制度を活用します。		企画情報課	中能登町商工会 町内企業 外部団体	
No.	数値、指標の測り方	現況値 (令和 2 年度)	数値目標 (令和 7 年度)	数値目標 (令和 12 年度)
1	いしかわワーク・ライフ・バランス認定企業数 (独自設定指標、県の制度)	2 社	5 社 (計画期間累計)	10 社 (計画期間累計)
2	各種団体に向けた啓発のための勉強会やイベント等での周知実施数 (年間) (独自設定指標)	—	3 回 (計画期間平均)	5 回 (計画期間累計)

1-2-2 役場内へのワーク・ライフ・バランスの促進 (新規)

内容		取組主体		
中能登町役場職員に向けた働き方改革やワーク・ライフ・バランスの促進を図ります。役場職員へのさらなる男女共同参画意識の醸成、多様な働き方の推進を図るためワーキングチームの設置を検討します。		総務課		
数値、指標の測り方		現況値 (令和 2 年度)	数値目標 (令和 7 年度)	数値目標 (令和 12 年度)
男性職員の育児休業取得率 (国の指標)		0%	15% (計画期間)	85%以上 (計画期間)

1-2-3 男女共同参画の関連法令の周知および雇用機会の均等

内容		取組主体	関係/連携団体	
「女性活躍推進法」や「男女雇用機会均等法」「労働基準法」など男女共同参画の関連法令について周知啓発を行うとともに、研修支援など企業に対して啓発活動を行います。		企画情報課	中能登町商工会 町内企業 鹿西高等学校	
数値、指標の測り方		現況値 (令和 2 年度)	数値目標 (令和 7 年度)	数値目標 (令和 12 年度)
「職場」における男女平等が 40%を超える項目数 ※21 頁「(2-4) 職場における男女平等」参照 (全 8 項目) (独自設定指標、アンケートの実施)		3 項目	6 項目 (計画期間累計)	8 項目 (計画期間累計)

1-2-4① 就労のための能力開発と意識向上の促進

内容		取組主体		関係/連携団体
女性の労働意識の向上と能力開発、自己啓発を図るため、関連する情報や学習機会を提供します。		企画情報課		町内企業 外部団体
No.	数値、指標の測り方	現況値 (令和2年度)	数値目標 (令和7年度)	数値目標 (令和12年度)
1	いしかわ男女共同参画推進宣言企業数 (独自設定指標、県の制度)	8社	20社 (計画期間累計)	30社 (計画期間累計)
2	情報、学習機会提供回数(年間) (独自設定指標)	1回	1回 (計画期間平均)	1回 (計画期間平均)

1-2-4② 就労のための能力開発と意識向上の促進

内容		取組主体		関係/連携団体
企画情報課と連携し、生涯学習講座に男女問わず雇用につながるプログラムの追加を検討します。また女性が子どもの有無にかかわらず働き続けられるよう、能力開発や自己啓発を図るなど、労働意識の向上につながる情報や学習機会を提供します。		生涯学習課 企画情報課		町内企業 外部団体
No.	数値、指標の測り方	現況値 (令和2年度)	数値目標 (令和7年度)	数値目標 (令和12年度)
3	雇用につながるプログラム実施数(年間) (独自設定指標)	—	5回 (計画期間平均)	5回 (計画期間平均)

1-2-5 農林業における家族経営協定の締結

内容		取組主体		
女性自営業者や後継者の主体的な経営の参画や家計と経営の分離を促し、共同経営の確立を呼びかけます。また、6次産業化の担い手として農林業の成長産業化に向けた女性活躍の仕掛けを展開していきます。		農林課		
数値、指標の測り方		現況値 (令和2年度)	数値目標 (令和7年度)	数値目標 (令和12年度)
女性新規就農者数 (独自設定指標)		0人	3人 (計画期間累計)	6人 (計画期間累計)

基本課題 3. 家庭や学校教育の場での男女平等

1-3-1① 学校教育による心の育成

内容		取組主体		関係/連携団体	
男女共同参画推進員の会による紙芝居を 3 小学校、 中学校 で実施し、人権尊重、男女平等など男女共同参画に関する意識づくりを行います。		学校教育課 企画 情報 課		男女共同参画推進員の会 3 小学校	
No.	数値、指標の測り方	現況値 (令和 2 年度)	数値目標 (令和 7 年度)	数値目標 (令和 12 年度)	
1	小 中 学校での授業提供回数（年間） （独自設定指標）	3 回	1 回以上 （計画期間平均）	4 回 （計画期間平均）	

1-3-1② 学校教育による心の育成

内容		取組主体		関係/連携団体	
人権擁護委員による保育園での人権に関する紙芝居を実施や、小中学校、 高校 での人権教育を通して心の育成に努めます。		人権擁護委員		長寿福祉課 学校教育課 小中学校、保育園	
No.	数値、指標の測り方	現況値 (令和 2 年度)	数値目標 (令和 7 年度)	数値目標 (令和 12 年度)	
2	人権教育の実施校数 及び実施園数 （年間） （独自設定指標）	4 校	4 校 （計画期間平均）	5 校 3 園 （計画期間平均）	

1-3-2 性教育(性の多様性)の推進

内容		取組主体		関係/連携団体	
学校教育において、児童・生徒が発達段階に応じた知識や男女平等に対する意識など、性に関して自らが考え、判断する能力を身につけられるよう性教育を推進します。また国の学習指導要領に対応し、新たな視点として性の多様性についても取り入れるよう検討します。		学校教育課		小中学校	
数値、指標の測り方		現況値 (令和 2 年度)	数値目標 (令和 7 年度)	数値目標 (令和 12 年度)	
性教育の実施校数（年間） （独自設定指標）		4 校	4 校 （計画期間平均）	4 校 （計画期間平均）	

1-3-3 家庭における男女共同参画の意識醸成

内容		取組主体	関係/連携団体	
SDGs の開発目標「ジェンダー平等を実現しよう」を意識し、性別による役割分担の不平等や差別を生む固定的観念や先入観のイメージを払拭することに努めます。(SDGs 週間などを活用して)		企画情報課	男女共同参画推進員の会 鹿西高等学校	
No.	数値、指標の測り方	現況値 (令和 2 年度)	数値目標 (令和 7 年度)	数値目標 (令和 12 年度)
1	SDGs セミナー開催数 (年間) (独自設定指標)	—	1 回 (計画期間平均)	1 回 (計画期間平均)
2	「家庭」における男女共同参画社会の達成状況 ※18 頁「(2-2) 男女共同参画社会の達成状況」参照 (独自設定指標、アンケートの実施)	49.5%	60% (計画期間)	70% (計画期間)

6-3. 基本方針 2. 誰もが幸せを実感できる地域づくり

基本課題 1. 誰もが安心・安全に暮らせる地域づくり

2-1-1 子育て世帯への支援

内容	取組主体		関係/連携団体
第3期中能登町子ども・子育て支援事業計画に基づき、子育て施策を総合的かつ計画的に推進していきます。	健康保険課		保育園・認定子ども園 保健センター
数値、指標の測り方	現況値 (令和2年度)	数値目標 (令和7年度)	数値目標 (令和12年度)
出産・子育て環境に対する満足度 (独自設定指標、子ども・子育て計画アンケートの実施)	65%	80%	80%

2-1-2 障がい者への相談支援

内容		取組主体	
障がい者本人及び障がい者がおられる家族を対象に、地域共生社会の実現を目的とした地域づくりのために障がい者支援策を講じます。		長寿福祉課	
数値、指標の測り方	現況値 (令和2年度)	数値目標 (令和7年度)	数値目標 (令和12年度)
相談支援対応実人数(人) (独自設定指標)	186 件	238 件 (計画期間平均値)	240 件 (計画期間平均値)

2-1-3 ひとり親家庭への支援充実

内容		取組主体		関係/連携団体
ひとり親家庭に対し、相談窓口を設置し、周知をすることで不安の軽減を図り、自立に必要な情報提供・支援を行います。		健康保険課		社会福祉協議会 能登中部保健福祉センター
No.	数値、指標の測り方	現況値 (令和2年度)	数値目標 (令和7年度)	数値目標 (令和12年度)
1	ひとり親家庭学習支援事業数(年間) (独自設定指標)	19 回	10 回以上 (計画期間平均)	10 回以上 (計画期間平均)
2	ひとり親家庭相談回数(年間) (独自設定指標)	1 回	1 回 (計画期間平均)	1 回 (計画期間平均)

2-1-4 外国人への支援（新規）

内容		取組主体	
外国人居住者に対して情報発信を行い、安心して生活できるよう支援を行います。		生涯学習課	
数値、指標の測り方	現況値 (令和2年度)	数値目標 (令和7年度)	数値目標 (令和12年度)
日本語教室の参加のべ人数 (独自設定指標、第2期総合戦略による)	90人	240人 (計画期間累計)	440人 (計画期間累計)

2-1-5 多様性への理解促進（新規）

内容		取組主体	
性別、年齢、国籍、性的思考、障がいの有無に関わらず、全ての人が互いに価値観を認め、尊重し合い、多様な人材が活躍し共存できる社会実現に向け、幅広い年代へ、多様性や性的マイノリティについて理解促進を図ります。		企画情報課 住民窓口課	
数値、指標の測り方	現況値 (令和2年度)	数値目標 (令和7年度)	数値目標 (令和12年度)
情報提供回数 (独自設定指標)	—	—	5回 (計画期間累計)

基本課題 2. 人生 100 年時代を実現できる地域づくり

2-2-1 ライフステージに応じた健康づくりの推進

内容		取組主体		
がんや脳卒中、心臓病、糖尿病などの生活習慣病予防のために、特定健診や各種がん検診の受診率向上や保健指導の徹底に努めるとともに、予防のための知識の普及啓発を行い、生涯を通じた健康づくりを支援します。		健康保険課		
No.	数値、指標の測り方	現況値 (令和2年度)	数値目標 (令和7年度)	数値目標 (令和12年度)
1	特定健診受診率 (国の指標、データヘルス計画による)	36.6%	60% (計画期間累計)	60% (計画期間累計)
2	特定保健指導率 (国の指標、データヘルス計画による)	38.8%	60% (計画期間累計)	60% (計画期間累計)
3	がん検診受診率 (国の指標、健康増進計画による)	胃がん : 11.4% 肺がん : 13.5% 大腸がん : 10.7% 乳がん : 14.8% 子宮がん : 12.9%	40% (計画期間平均)	25% (計画期間平均)

2-2-2 親子の健康づくりの推進

内容		取組主体	
母と子の健康診査や教室・相談事業、家庭訪問等を行い、妊娠期・出産期・乳幼児期を通じて切れ目のない健康づくりを支援します。		健康保険課	
数値、指標の測り方	現況値 (令和２年度)	数値目標 (令和７年度)	数値目標 (令和１２年度)
妊産婦及び乳幼児健康診査受診率 (独自設定指標)	100%	100% (計画期間平均)	100% (計画期間平均)

2-2-3 生涯を通じた健康活動の推進

内容	取組主体	関係/連携団体	
生涯にわたり健康に過ごすため、生涯スポーツやレクリエーション活動の推進を図ります。高齢者から若年層まで対象に応じたプログラムを検討し、実際の体験だけでなくケーブルテレビを利用したオンライン講座などの提供方法も検討します。	生涯学習課	情報推進課	
数値、指標の測り方	現況値 (令和2年度)	数値目標 (令和7年度)	数値目標 (令和12年度)
生涯学習のつどい参加者の周知度、満足度 (独自設定指標、参加者アンケートの実施)	—	50% (計画期間累計)	100% (計画期間累計)

基本課題 3. 暴力を許さない風土づくり

2-3-1 DV等の予防啓発活動の推進及び相談先の周知

内容	取組主体	関係/連携団体	
DV等に対する認識を浸透させ、あらゆる暴力の予防、根絶に向けた啓発を推進します。また、必要な情報提供が幅広く行えるよう、相談窓口をはじめ、県など関係機関と連携を図ります。	企画情報課	健康保険課 長寿福祉課	
数値、指標の測り方	現況値 (令和2年度)	数値目標 (令和7年度)	数値目標 (令和12年度)
相談体制・支援の周知度 (独自設定指標、アンケートの実施)	—	50% (計画期間)	100% (計画期間)

2-3-2 DV等相談体制の充実

内容		取組主体		
DVをはじめ、子ども・子育て・ひとり親・障がい者からお年寄りまで、全ての年齢層に対応できる体制を行政サービス庁舎内において連携を図るとともに、相談内容に応じた適切な専門機関に繋がります。		健康保険課 長寿福祉課		
職員を対象としたDV等の被害、ハラスメントの相談窓口として産業医を設置した体制づくりを整えます。		総務課		
No.	数値、指標の測り方	現況値 (令和2年度)	数値目標 (令和7年度)	数値目標 (令和12年度)
1	相談件数（年間） (独自設定指標)	5 件	10 件 (計画期間平均)	10 件 (計画期間平均)
2	相談体制・支援の周知度 (独自設定指標)	—	50% (計画期間)	100% (計画期間)

6-4. 基本方針 3. 誰もが参画しやすい仕組みづくり

基本課題 1. 意思決定の場への女性登用

3-1-1 審議会や委員会等における女性の参画、登用促進

内容		取組主体	
審議会や委員会等において、委員会委員の選出方法を見直すなど、委員改選時にどちらかが 40%未満にならないように配慮し、女性の登用を図ります。		中能登町役場 全課	
数値、指標の測り方	現況値 (令和 2 年度)	数値目標 (令和 7 年度)	数値目標 (令和 12 年度)
女性登用比率 (国の指標)	39.5%	40%以上 (計画期間)	40%以上 60%以下 (計画期間)

3-1-2 女性管理職員の登用と育成

内容		取組主体	
研修などへの参加を促進するとともに、職場における女性職員の幹部への積極的登用を図ります。また、役場女性職員に対する管理職に対する調査結果を踏まえた人材育成を検討し、女性管理職への登用に努めます。		総務課	
数値、指標の測り方	現況値 (令和 2 年度)	数値目標 (令和 7 年度)	数値目標 (令和 12 年度)
女性管理職比率（一般行政職の比率） (国の指標)	15.8%	18%以上 (計画期間)	35% (計画期間)

基本課題 2. 男女共同参画を身近に感じる環境づくり

3-2-1① 男女共同参画の啓発・周知の深化

内容		取組主体		関係/連携団体
男女共同参画週間、パープルリボンキャンペーン月間を活用して、男女共同参画に対する意識を高めることや中能登町の地域活動での成功事例などを、広報なかのとやホームページ、ケーブルテレビ等さまざまな媒体を通じて男女共同参画の重要性及び必要性について周知・啓発を行います。また、積極的なセミナーで町民の周知度と意識醸成を図ります。		企画情報課		男女共同参画推進員の会 鹿西高等学校
No.	数値、指標の測り方	現況値 (令和 2 年度)	数値目標 (令和 7 年度)	数値目標 (令和 12 年度)
1	中能登町全体の男女共同参画達成状況 ※18 頁「(2-2) 男女共同参画社会の達成状況」参照 (独自設定指標、アンケートの実施)	17.3%	40% (計画期間)	50% (計画期間)

3-2-1② 男女共同参画の啓発・周知の深化

内容			取組主体	
広報なかのとの掲載や、ホームページ、SNS 等および音声告知端末を活用した情報発信を行い、現在のニーズに合った啓発と普及に努めます。			情報推進課	
No.	数値、指標の測り方	現況値 (令和 2 年度)	数値目標 (令和 7 年度)	数値目標 (令和 12 年度)
2	ケーブルテレビでの男女共同参画の啓発に関する番組制作およびデジタルを活用した情報発信（年間） (独自設定指標)	—	1 回 (計画期間平均)	2 回 (計画期間平均)

3-2-2 男女共同参画の視点に立った制度・慣行の見直し

内容	取組主体	関係/連携団体	
高校生と連携し、地域に根付く制度・慣行や若い人が疑問に思うことなどを固定観念にとらわれない、これからの時代に合ったものに更新していくためのワークショップなどを実施し、課題解決につながる提案を行います。	企画情報課	鹿西高等学校 男女共同参画推進員の会	
数値、指標の測り方	現況値 (令和 2 年度)	数値目標 (令和 7 年度)	数値目標 (令和 12 年度)
課題解決提案企画数（年間） (独自設定指標)	—	1 提案 (計画期間平均)	1 回 (計画期間平均)

3-2-3① 情報・資料の収集

内容		取組主体		関係/連携団体	
男女共同参画に関する国・県・他自治体等の情報や資料を収集し、閲覧できるような仕組みを整えます。（男女共同参画週間、パープルリボンキャンペーン月間を活用）		企画情報課		男女共同参画推進員の会 鹿西高等学校	
No.	数値、指標の測り方	現況値 (令和２年度)	数値目標 (令和７年度)	数値目標 (令和１２年度)	
1	告知推進月間のPR（年間） （独自設定指標）	２回	２回 (計画期間平均)	２回 (計画期間平均)	

3-2-3② 情報・資料の収集

内容	取組主体			
男女共同参画に関する書籍を図書館に充実させ、町民が男女共同参画を身近に感じられるような環境づくりを図ります。	生涯学習課			
No.	数値、指標の測り方	現況値 (令和 2 年度)	数値目標 (令和 7 年度)	数値目標 (令和 12 年度)
2	男女共同参画関連図書の購入数 (独自設定指標)	10 冊	50 冊 (計画期間累計)	100 冊 (計画期間累計)

基本課題 3. 民間団体が男女共同参画を推進できる体制づくり

3-3-1 民間団体等との連携・仕組みづくり（新規）

内容	取組主体	関係/連携団体	
男女共同参画推進につながる地区や有志の団体への先進的で持続可能な普及啓発活動等を支援します。	企画情報課 生涯学習課	商工会青年部 青壮年協議会	
数値、指標の測り方	現況値 (令和2年度)	数値目標 (令和7年度)	数値目標 (令和12年度)
男女共同参画の普及啓発活動等への支援団体数 (独自設定指標)	1 団体	5 団体 (計画期間累計)	5 団体 (計画期間累計)

3-3-2 女性協議会の普及啓発活動（新規）

内容	取組主体		
女性が地域活動に参加する際の受け皿としてあり続けるために会員数を確保しつつ、次世代の人材育成にも努めます。また若年層に向けたすそ野の拡大をはかるため SNS 等を活用し気軽に参加できる機運づくりにも努めます。	女性協議会		
数値、指標の測り方	現況値 (令和2年度)	数値目標 (令和7年度)	数値目標 (令和12年度)
中能登町 18 歳以上女性人口数に占める 女性協議会会員数の割合 (独自設定指標)	8.8%	9%維持 (計画期間)	6%維持 (計画期間)

3-3-3 男女共同参画推進員の普及啓発活動（新規）

内容	取組主体	関係/連携団体	
町全体への男女共同参画の普及には、地域への意識醸成が必要です。男女共同参画推進員の会が中心となり、町内の各地区で年配の方も含めた多世代の町民を対象とした男女共同参画の普及啓発活動に努めます。	企画情報課	男女共同参画推進員の会 区長会	
数値、指標の測り方	現況値 (令和2年度)	数値目標 (令和7年度)	数値目標 (令和12年度)
各地区での男女共同参画普及啓発活動 (独自設定指標)	—	5 地区 (計画期間累計)	10 地区 (計画期間累計)

6-5. 計画の進捗管理

中能登町男女共同参画審議会の開催

本計画をより実効性のあるものとするため、計画に基づく各取組みの進捗状況を定期的に確認・検証する場として、中能登町男女共同参画審議会を引き続き開催していきます。審議会は、町内の各種団体の代表者および学識経験者、町民有志で構成されておりますので、様々な角度からのご意見をもとに5年後、10年後の見直しも見据えたアプローチを意識していきます。また国や他の自治体など世の中の動きを注視し、男女共同参画を推進していく中での現場の動きにも柔軟に対応し、改善を図っていきます。また変化の激しい男女共同参画を取り巻く社会状況に対応するために、必要に応じて町民の意見、意識を確認するWebアンケートの実施などデジタル技術を活用した仕組みづくりにも努めます。

PDCA サイクルによる計画の評価

第3期中能登町男女共同参画行動計画の推進にあたっては、計画の取組みを効率的かつ効果的に実施していくために、すべての取組みに数値目標を設定しました。数値目標は数値、指標の測り方をもとに設定しており、毎年次年度以降の取組みの推進に反映するために、「計画（Plan）」、「実行（Do）」、「評価（Check）」、「改善（Action）」するPDCA サイクルを回しながら「やさしい心で支え合い誰もが幸せを実感できる未来」を実現するための取組みを進めていきます。

図. PDCA サイクル

